

「東京都中央卸売市場経営計画（案）」に対するパブリックコメントの結果と都の考え方

パブリックコメントの概要

〈募集期間〉 令和4年1月28日（金曜日）から令和4年2月26日（土曜日）までの30日間

〈意見の提出方法〉 電子メール、郵送

〈意見総数〉 24件（個人1者、法人7者）

No.	意見の要旨	都の考え方
「Ⅰ 経営計画の概要等」について		
「第1 経営計画の概要」について		
1	<p>今後の方向性については、市場業者の稼ぐ力や市場会計の改善に偏りすぎていて、もっと卸売市場の存在意義自体にも踏み込んでほしいという印象を持ちました。</p> <p>中央卸売市場は、行政が流通機構に直接、関与できるという点から、フードバンクや子ども食堂のような施設が増加していることに加え、買い物弱者と呼ばれる人たちが十分に食料にアクセスできないといった課題を解決するために新たな役割が見出されると思います。</p> <p>都の中央卸売市場の運営は、民間では到底できないからこそ、民間企業によって開設可能となった今後も、都が引き続きやって行こうしているのではないのでしょうか。</p> <p>原点に立ち返り、中央卸売市場は何のため、誰のためにあるのか。市場機能とはどこからどこまでを指すのか。将来に向けた食料政策や都市づくりの一環として、広い視野で中央卸売市場を位置付けていただきたい、と思考いたします。</p>	<p>本計画では、2040年代の中央卸売市場の姿と、持続可能な市場経営の実現に向けた具体的な取組を示しております。その終局的なゴールは、中央卸売市場が、その使命を踏まえ、持てる機能を十全に発揮することで、都民生活の幸せを実現することとしており、都が開設する中央卸売市場はこの実現に向けて一翼を担う重要な一機関であると考えております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
「Ⅱ 市場経営の基本的な考え方と今後の進め方」について		
「第1 中央卸売市場全体の機能の最適化と各市場の機能強化」について		
2	<p>各水産物市場に期待する役割と機能強化の方向性の大田市場（水産物）について、「『近隣地域における』水産物流通の供給拠点としての機能を発揮」とありますが、現在はこの機能は急速に失われています。物流拠点としての立地としては優位性があるため、今後EC化、DX化が加速することを踏まえ「飲食店や個人への出荷・配送機能を発揮」などを追加検討いただきたい。</p> <p>また、当役割・方向性を実現する具体案として、大田市場は現在駐車場不足に陥っているため、駐車場、茶屋等の立体化によるパースやトラック駐車場の延べ床面積の増大が求められていると思います。</p>	<p>本計画では、大田市場（水産物）に期待する役割と機能強化の方向性として、小売店や量販店などの多様な実需者ニーズに応じた販売機能や加工機能等を発揮を挙げており、実需者ニーズに対応する機能を維持強化するとしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	意見の要旨	都の考え方
3	水産市場は青果が伴わないと厳しいことから、足立市場（千住）には青果が必要です。	本計画では、足立市場（水産物）について、近隣地域における水産物流通の供給拠点としての機能や、小売店や量販店などの多様な実需者ニーズに応じた販売機能や加工機能等の発揮を期待する役割としております。
「第2 市場施設の計画的な維持更新」について		
4	「都による整備は、建物の構造体（スケルトン）を対象とすることを基本とし、内部の仕上げや設備（インフィル）は、施設の利用者が造作等により柔軟に整備を行うことを基本的な考えとします。」と挙げられているが、補足として、都は市場施設の共用部を、施設の利用者はその占有部を整備することが基本であることも示していただきたい。	本計画では、従来、市場施設を機能させるために必要な整備については、都が実施してきましたが、一方で、市場を取り巻く環境の変化に迅速に対応していくためには、施設の利用者である市場業者がより創造性を発揮して、目的や用途に沿った造作等により主体的に施設整備を進めることが必要としております。そのため、第2の改築等の考え方で述べたように、都による整備は、建物の構造体（スケルトン）を対象とすることを基本とし、内部の仕上げや設備（インフィル）は、施設の利用者が造作等により柔軟に整備を行うことを基本的な考え方としております。こうした考え方や実態を踏まえ、費用負担を含めた運用の仕方を検討してまいります。
「Ⅲ 市場の活性化に向けた取組」について		
「第1 生鮮品等流通の基幹的なインフラとしての機能の強靱化」について		
5	「品質・衛生管理の徹底・強化」について、「HACCPに沿った衛生管理を行っていない業者への取り締まり強化」を追加検討いただきたい。また、品質維持のためサプライチェーンを担保するための施設整備（茶屋スペースの低温化など）を具体案として追加をお願いしたい。	本計画では、市場業者が品質・衛生管理の重要性を理解し、着実に衛生管理を実施するための支援を実施していくとしております。また、整備については、市場施設の維持更新等の機会を捉えて、市場業者が流通環境や顧客ニーズの変化を踏まえた品質・衛生管理の高度化に柔軟に対応できるよう配慮した施設整備を行うこととしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
6	DXの推進等による市場業務の効率化等とあるが、卸売市場システムのEC化はどれだけ進んでいるのか。何でもインターネットで購入出来る時代に卸売でのセリ、FAX、電話での相対はあまりにも時代遅れ。全市場共通のECサイトを各市場ごとに構築し、そこで卸、仲卸への発注・購入・決済ができるように整備をするなどして、完全EC化できないのか。	本計画では、DXの推進等による商流の高度化・効率化に向け、商取引のデジタル化に係る市場業者の意識啓発や支援を行うため、ICTなど先端技術や取引情報の活用に係る課題や事例の調査を行うとともに、調査結果を踏まえ、市場業者とも連携しながら先端技術の導入に向けた検討や試行を進めていくとしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
7	現場で商品を探す時間を短縮するため、QRコードやスマホや独自の端末を使用する事により置き場が瞬時にわかるようにして欲しいです。	本計画では、DXの推進等による商流の高度化・効率化に向け、商取引のデジタル化に係る市場業者の意識啓発や支援を行うため、ICTなど先端技術や取引情報の活用に係る課題や事例の調査を行うとともに、調査結果を踏まえ、市場業者とも連携しながら先端技術の導入に向けた検討や試行を進めていくとしております。

No.	意見の要旨	都の考え方
8	在庫過剰商品と入荷の少ない商品とのバランスが悪いように感じます。商品が必要な企業は、商品が集まらないと困るため仕入れの上流に上り産地契約を増やしていると聞きます。市場は、足りない時に買う場所になりつつあります。それを打開するには、その企業以上に産地を開拓して抑える必要があると思います。	本計画では、市場業者による産地との連携を通じて市場の集荷力が向上し、調達の高い安定性が確保されることを目指すべき姿としております。そのため、市場業者が行う産地や実需者との結びつきを強化する取組について、補助事業等により支援していくとともに、経営の専門家とも連携しながら、市場業者に対する情報発信等を強化していくとしております。
9	人材育成に向け、市場組織として学びの仕組みに乗れるところを色分けし取捨を明確にすべき。	本計画では、都は、経営の専門家と連携した情報発信や経営相談事業等を通じて、市場業者が社会経済環境の変化を認識し、柔軟に対応できるよう、個々の状況に応じた支援に取り組んでいくとしております。
10	「市場業者の稼ぐ力を強化するための各種経営支援について」の「アドバイザー事業」について、国家資格の体系上、中小企業診断士が、中小企業の経営上のよろず相談に対応することを期待されており、実際、写真で対応しているのは中小企業診断士であり、実績もあるため、「公認会計士等が、各市場を」を「公認会計士、中小企業診断士等が、各市場を」と修正すべき。	本計画では、アドバイザー事業の現状について説明しており、現在、同事業は、公認会計士が対応しております。頂いたご意見については、今後の事業の参考にさせていただきます。
「第2 市場取引の活性化に向けた取組の強化」について		
11	「物流の高度化・効率化」の「今後5年間の主な取組」について、効率化を実現する為の設備を配置できる市場内の建屋・場所に対する取組がなく実効性が乏しい内容になっています。物流効率化のために、市場内に設備を設置できる一定規模の広さを有する場所が不可欠であり、取組みの中に「市場内での一定規模の広い場所確保」を追加検討頂きたい。	本計画では、都の各市場が相互に補完しながらネットワークを形成し、一体として機能を発揮しているとしております。また、ネットワークの機能の1つとして、ある中央卸売市場内において荷が混雑する場合、混雑する市場からスペースに余裕のある市場に荷が回るなどにより、場内物流の平準化が図られることが期待されるとしております。さらに、中央卸売市場におけるネットワークを生かした市場間転送や、各市場の役割の役割分担によるストックポイントとしての活用等について、検討を進めていくとしております。
12	各仲卸では摘要欄や規格欄に等級を記載してきますが、トマトという商品コードは1つのため当社で使用している商品コードとリンクできないため、仕入れの計算時などに人件費が無駄にかかっています。最低でも等級までは商品コードを分けてもらいたいです。	本計画では、DXの推進等による商流の高度化・効率化に向け、商取引のデジタル化に係る市場業者の意識啓発や支援を行うため、ICTなど先端技術や取引情報の活用に係る課題や事例の調査を行うとともに、調査結果を踏まえ、市場業者とも連携しながら先端技術の導入に向けた検討や試行を進めていくとしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。
13	将来はネット3対リアル店舗7の比率になることと考えられることから、ネット受注システムの構築を進めるべき	本計画では、DXの推進等による商流の高度化・効率化に向け、商取引のデジタル化に係る市場業者の意識啓発や支援を行うため、ICTなど先端技術や取引情報の活用に係る課題や事例の調査を行うとともに、調査結果を踏まえ、市場業者とも連携しながら先端技術の導入に向けた検討や試行を進めていくとしております。

No.	意見の要旨	都の考え方
14	<p>「多様な消費者ニーズへの対応」の「今後の5年間の主な取組」について、取扱品目制限の大幅な緩和（規制の撤廃。又は取り扱い比率のみでの制御）を取り組みとして追加検討いただきたい。黙認をたてに制限外の製品も扱っている同業他社もいて、健全な競争が行われていないと考えております。</p>	<p>本計画では、取引参加者に対する指導監督等を適切に実施し、公平かつ公正な取引環境の確保を継続していくとしております。</p>
「第3 市場取引の活性化に向けた取組の強化」について		
15	<p>SDGsを前面に廃棄ゴミの引き取りを辞めて循環サイクルを検討する。廃棄している生ごみに（不燃物にも）再利用の可能性がありますますが引き取って焼却し、二酸化炭素を増やしている状況だと思います。施設を検討すれば、将来的に収益化（ゴミ代の削減）ができるのではないのでしょうか。</p>	<p>本計画では、食品ロスの削減に寄与する取組事例の収集や課題等の分析を行い、その知見を市場業者と共有することなどにより、エシカル消費への対応やフードバンク等に協力する市場業者の取組を支援してくととしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
16	<p>「市場のゼロエミッション化」の「今後5年間の主な取組」について、発泡スチロールの洗浄装置を設置する区画確保のため荷捌き場の立体化による市場の延べ床面積の拡大を具体的な取り組みとして追加検討いただきたい。</p>	<p>本計画では、引き続き市場業者と連携して、容器類等の排出量削減に取り組むとともに、発泡スチロール製容器のリサイクルの高度化に向けた調査等を行い、得られた知見等を市場関係者と共有し、より環境負荷の低い循環利用を促進していくとしております。</p>
17	<p>「働き方改革・ダイバーシティの推進」とあるが、卸・仲卸職員の長時間労働問題に東京都はどのようにコミットしていくつもりなのだろうか。労務は各社が対応すべき問題であると同時に、働き方、サステナブルという観点では市場全体の問題と捉える必要がある。休市日の増、完全リモートワーク化、労働時間・日数のチェックなど貴重な後継者が失われない施策を卸・仲卸に対して東京都から打つべきでは。</p>	<p>本計画では、休開市日設定に当たり、休開市日の議論を深めることで、働き方の見直しについて、具体的な取組を検討していくとしております。また、市場業者による働き方改革に資する新たな取組について、補助事業等により支援していくとともに、経営の専門家とも連携しながら、市場業者に対する情報発信等を強化していくとしております。</p>
「IV 財政見直し」について		
18	<p>「IV 財政見直し」について、現在駐車場代が無料であり、仲卸のトラック等の車両が増え、買出人の車両や通勤で使用している車が駐車しづらく、荷捌も通路部分を大々的に使用し歩行者や自転車、フォーク・ターレ等死角が生まれ極めて危険な状況である。よって、駐車料金を徴収するにすれば必要最低限の車両に絞られるため安全の確保と新たな収入が期待できる。</p>	<p>本計画では、経営状況等のより精緻な分析を踏まえた経営改善策を検討、実施していくとしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	意見の要旨	都の考え方
参考資料		
19	<p>「参考資料」の卸売市場の取り扱い数量、金額の統計について、仲卸会社の取引数量、金額ベースでの統計も同時に考慮すべきではないかと思えます。市場法改正後、仲卸による直荷引が拡大しているため、市場の荷扱い高の数字としては実態と乖離が進んでいると考えられます。特に大田市場水産物部においては直荷引の割合が高い仲卸が多く、金額が非常に小さく見えてしまっております。</p>	<p>頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
20	<p>2040年代までに市場会計の経常収支黒字化を目標に定めるとのことだが、財政状況の実績報告資料が11市場合算のものしか示されておらず、これでは具体的な方策を検討できない。各市場および取扱品目（水産物、青果物、食肉、花き）ごとの財政状況を巻末の参照資料「5 中央卸売市場会計の財政状況」に追加付記していただきたい。</p>	<p>本計画では、管理会計の手法により、経営状況等をより精緻に把握・分析した上で、「経営レポート（仮称）」を作成するとしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
その他		
21	<p>施設を借りていない方の作業・作業場の管理について、パッケージの作業などで店を開いている人は、仲卸や大卸で作業ができるようになれば、収益が上がると思いました。</p>	<p>本計画では、経営状況等のより精緻な分析を踏まえた経営改善策を検討、実施していくとしております。頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
22	<p>最低取扱量の試算を行い、食肉市場の仲卸の数を増やす。仲卸になれるという事であれば、入りたい企業も多く、手数料の母数が増えれば市場の収益も増えると考えています。</p>	<p>中央卸売市場HP「いちばQ&amp;A」に掲載しているとおり、仲卸業者になる場合、東京都知事の許可が必要となります。この許可の申請は、廃業などの理由により新たな仲卸業者を必要とする場合に東京都が募集しております。応募するにあたってはいくつかの資格が必要となっております。</p>
23	<p>市場業者の数は減少していますが、豊洲市場においては引き続き仲卸スペースが埋まってしまっており、仲卸の新規参入の可能性がなく、意欲のある業者の参入が許されていない状況にありますこのような健全な競争・新陳代謝がない状況が活発な取引が行われないうことや市場業者の目利き力の低下の原因となっていると考えております。「市場業者の経営基盤の強化」について、「仲卸の市場への新規参入促進」を追加検討いただきたい。</p>	<p>中央卸売市場HP「いちばQ&amp;A」に掲載しているとおり、仲卸業者になる場合、東京都知事の許可が必要となります。この許可の申請は、廃業などの理由により新たな仲卸業者を必要とする場合に東京都が募集しております。応募するにあたってはいくつかの資格が必要となっております。また、本計画では、市場業者は、社会経済環境の変化に柔軟に対応して、販路の多角化、事業者間の連携や事業承継等の経営課題に自律的に取り組み、経営基盤の強化を図っていくとしております。</p>
24	<p>活気を取り戻すため大田市場駅を作る、野鳥公園を市場化する。 駐車場が無い問題、関連棟や青果棟にお客様が来場頂けない理由は交通の便と市場内の魅力のない店舗のせいだと思います。大型店舗と駐車場を完備して、電車でも車でも来れるようにすることにより、大田市場は確実に活性化します。</p>	<p>本計画は、市場を経営する都の立場を捉え直し、それぞれの立場に沿った取組を着実に推進していくとしております。開設者の立場として、個々の市場の機能強化を図るとともに、各市場が形成しているネットワークを強化して、市場全体として最適な機能を発揮させるとともに、施設管理者の立場から、市場施設のメリハリある、計画的な維持更新を進めていくとしております。</p>